

＜クリティカル看護専攻教育課程＞審査基準正誤表

ページ	訂正箇所	誤	正
130	専攻分野専門科目	1) 申請校が開設する1～3の授業科目は、それぞれが2単位相当の内容を含み、かつ4科目以内で6単位となるように編成されていること。	1) 申請校が開設する1～4の授業科目は、それぞれが2単位相当の内容を含み、かつ4科目以内で8単位となるように編成されていること。

【別表2-10】

＜クリティカルケア看護専攻教育課程＞審査規準

科目	審査規準
専攻分野共通科目： 1) 申請校が開設する1～4の各々の授業科目が、それぞれ2単位相当の内容を含んでいること。 2) 下記の科目の1と2のいずれか、および3、4、5のいずれかの内容をバランスよく含んでいること。	
1. 人間存在に関する科目	
2. 危機とストレスに関する科目	
3. クリティカル状況でのフィジカルアセスメントに関する科目	
4. 重症患者の代謝病態生理学に関する科目	
5. クリティカルケア治療管理に関する科目	
専攻分野専門科目： 1) 申請校が開設する1～4の授業科目は、それぞれが2単位相当の内容を含み、かつ4科目以内で8単位となるように編成されていること。 2) 1～4の科目を必ず含むこと。	
1. クリティカルケア看護実践に関する科目Ⅰ	
2. クリティカルケア看護実践に関する科目Ⅱ	
3. クリティカルケア看護実践に関する科目Ⅲ	
4. クリティカルケア看護実践に関する科目Ⅳ	
実習科目：	
実習 クリティカルケア看護実習	1) クリティカルケア看護専攻分野教育目標にそって以下のような実習目標（到達基準）が含まれていること。 ①クリティカル期の患者の身体的状態について専門的に判断し、必要なケア・処置が実践できる。 ②患者の苦痛を効果的に緩和し、安楽をはかることができる。 ③患者の尊厳を守り、倫理的問題に対応する。 ④治療環境を総合的に管理する。 2) 実習内容 クリティカルケア看護専攻教育課程の実習内容に準ずる。 3) 実習場所の条件 常時、集中治療管理を受けている患者を相当数受け入れている施設であること。 4) 指導体制 クリティカルケア看護実践に専門的に携わる看護職またはクリティカルケア看護学を専門とする教員が指導にあたっていること。

添付資料

1. 修士課程の概要（履修規程）
2. シラバス
3. 実習要項（実習内容・実習場所・指導教員等）